

私を元気にしてくれるもの

田中静子

いつも火曜日のミサに与り、静かな落ち着いた時間をいただくことにありがたく思います。本当にいい時間です。神様と対面して、心を向けることで、気付き、反省が浮かんできます。

加齢によって時間もあり、火曜日が空いたので 与れるようになりました。

先日 5月14日(火曜日)に集会祭儀で Sr. ニダのお説教でした。

今日の福音は 素晴らしいねえ、から始まり、わかり易く話してくださいました。

ヨハネによる福音 15-9~17 3つのポイントがあります。と、

喜び、愛、友、 について話されました。特に “友” は 神との関係性、

イエス・キリスト とどう関わっていますか、それは祈りです。と おっしゃいました。

愛し合って ゆるし合う、こうして 私たちは 神様に 思いを聞いていただくのですね。

『イエスの言葉に耳を傾け。イエスの憐れみと、愛のわざ を他の人々に行う必要がある。

これによって私たちの喜びは 完全なものになると思います』 Sr.ニダ より

出かける事も少なくなり、無関心になったり、否定的に物事を考えたりしてしまいがちですが、火曜日は目的が出来、楽しい一日を過ごせるようになり、感謝しています。

火曜日にお時間のある方、気軽に参加してみられては いかがでしょうか？

10時30分~ミサ(第一火曜日は、聖体賛美式) その後、Sr.ニダの聖書講座(自由参加)です。

よろしければご一緒しましょう、お待ちしております。

社会活動部

岡本幸代

いつも社会活動部にご支援・ご協力をいただき有難うございます。さて、今年も【ふるさとの家】に夏物の支援物資を送る時期となりました。皆様、【ふるさとの家】について、どれくらいご存知でしょうか？私は名前しか知りませんでしたので、インターネットでちらっとのぞいてみることにしました。

すると、昔「危険だから絶対に近づいたらあかん」と大人に言われたことがあった大阪・西成のあいりん地区、かつてホームレスと日雇労働者の街と呼ばれた場所。

そして、TVで観たことのある年末の炊き出しに並ぶ大行列ができていた三角公園のすぐ側に【ふるさとの家】があるではないですか！！そして、その【ふるさとの家】には、誰もが受け入れられ、毎日100人~150人の出入りがあるそうです。日曜日には、労働者のためのミサが行われており、労働者にとって心の拠り所となっています。また、【ふるさとの家】には、ラーメン室という袋入りラーメンを持ち込んだら、調理できる設備があるそうです。

あいりん地区、かつてどこの街からも追い出された人が最後に受け入れられる街だったそうです。

【ふるさとの家】は、私の想像とは違って、戦後の昭和が残っているような建物、私はここに皆様より預かった支援物資を年2回送っているのだと、改めて本当に必要な物を認識できました。日用品・タオル・食品(インスタントもの)・男性衣料・大歓迎です。高価なもの入りません。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願い致します。

「神は、ほどこす者ではなく、ほどこされる者と共にいる」

~ 神に感謝 ~

ご参考：編集部より 返礼品をそのまま寄付するという方法 各地で即席麺の返礼品があります。

